

‘07-10-19

## 平成 19 年 10 月度「街づくり委員会」議事録

日時：‘07-10-18（木）19：30～21：00

場所：膳所駅前商店街振興組合事務所

出席委員：橋本、中井、竹吉（平野自治連）、乾（運営準備会）、杉本、川上（平野商店街）、川添、安田（大津市）、森、雨宮、奥村、戸所、原田、平井（膳所駅前商店街）

議事内容：

## 1. 9 月度「街づくり委員会」議事録確認（乾委員）

## 2. 大津市からの報告（川添）

膳所駅舎橋上化工事については、19 年度調査予算 400 万円が確定した。現在、コンサルタントとの契約を結んだところである。国の補助金申請も行っている。その他は前月度からの大きな進捗はない。駅舎橋上化事業の内容は、構内バリアフリー化、市民センター移築など駅前周辺整備を含むものである。

## 3. コミュニティバスの検討

## ①コミュニティバス検討グループの設置とメンバーの選定（雨宮委員）

組織上、本検討グループは運営委員会の傘下に置き、メンバーは当面、雨宮、奥村、戸所、乾、中井、竹吉、杉本の 7 名とする。

## ②9 月度委員会で宿題とした調査事項の報告（雨宮、竹吉委員）

## ・過去、大津市内を巡回していたミニバスの運行中止の原因調査

⇒建設部高木主査の談によれば「平成 17 年から約 1 年間、石山駅と市民病院の循環ルートを京阪バスのミニバスが走った。しかし、利用客が少なく、採算も合わず廃止となった。」とのこと。

## ・醍醐コミュニティバス体験乗車報告

⇒雨宮、奥村、竹吉、戸所の 4 人が 10 月 7 日（日）、醍醐に出向き体験乗車し、その報告があった。なお、インターネット情報にも詳細な情報があるので、これを各委員に配布し、今後の議論の参考にしてもらうこととした。

## ③平野学区にコミュニティバスを導入する意義・目的の確認（乾委員）

今後、議論を深めていくために、導入の意義・目的を整理しておく必要がある。各委員から活発に意見が出されたので、次回委員会までに、整理し最終調整を行うこととした。また、ミニバスの愛称も考える。

## ④運行ルートについて（雨宮）

平野学区のマップを利用して、住民の利用施設などをマップ落とし、具体的にバスを走らせるルートにつき議論した。ここで出た意見を整理し、次回委員会で素案を作り、中川先生との面談に望むこととした。

以上